

第8回 羽島市新庁舎建設委員会 会議要旨

日時	平成30年11月21日（水）午後3時00分から4時30分
場所	羽島市役所 本庁舎4階 第一会議室
出席者	<p>〔検討委員〕 大野委員長、犬飼副委員長、木下委員、高木委員、今井田委員、浅野委員、柳町委員、川合委員、安藤委員、浅野委員、岩田委員</p> <p>〔市関係者〕 事務局：橋本総務部長、入山新庁舎建設推進課長、黒田同課専門官、山田同課係長</p> <p>株式会社佐藤総合計画中部事務所ほか：7名 株式会社イトーキ中部支社：1名</p> <p>〔傍聴者〕 傍聴者6名（報道機関を含む）</p>
内容	<p><u>1 開会・あいさつ</u></p> <p>委員12名のうち、11名が出席。</p> <p>事務局より開会の挨拶。</p> <p>議事進行を委員長にお願いする。</p> <p><u>2 議題 （1）基本設計（最終案）について</u></p> <p>事務局： 基本設計（最終案）について、資料を使用して以下の説明を行う。 現時点での基本設計（最終案）の内容について以下を説明 ・資料1に基づき、基本方針、計画概要、構造概要、電気設備概要、機械設備概要を説明</p> <p>委員長： 事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。</p> <p>委員： まず、駐車場は約250台確保とありますが、今現在の駐車台数は、職員用の駐車場を含めて何台ですか。また、新庁舎の市民活用スペースや保健センターの集団検診などにより、必要な駐車台数が増えると思いますが、その増加台数を見込んでいますか。 それから、保健センターの集団検診などは、現在の場所で行うということで、当初の計画では、2階の渡り廊下があったと思いますが、その計画は無くなったのですか。 また、市民が、子育て・健幸課へ間違えて来庁し、保健センターへ移動</p>

してもらおう際、新庁舎の南側から直接出入りできますか。平面図を見る限りでは、南側から直接行けず、北側の玄関から出て南側へ回らないといけないような感じですが、どうですか。

事務局：

現在の駐車場は、来庁者用駐車場が約 150 台、公用車用駐車場が約 70 台ですので、増加台数を見込み約 250 台として計画しています。職員用駐車場は、敷地外の借地利用を想定し、現在も引き続き交渉を進めています。

それから、保健センターへの渡り廊下の関係ですが、当初、保健センター機能を新庁舎内に入れるというレイアウト計画案をお示ししましたが、部門間の近接度調査など検討を重ねた結果、保健センター機能を新庁舎に入れるのは現実的ではありませんでした。なお、子育て・健幸課を 1 階へ計画した関係で、保健センターへの 2 階での渡り廊下の設置を見送る計画としています。

また、保健センターの執務機能に関しては、1 階窓口で相談や手続きをしていただき、集団検診などは保健センターで行います。子育て・健幸課へ間違えて来庁された場合には、西側の出入口を通過して、保健センターに向かっただけで想定をしています。

委員長：

駐車場については、少し離れたところの駐車場も含めて計画されているということですね。保健センターについて、離れたほうがいいということはありませんか。例えば、集団検診などの内容によっては、大勢の人が来て、一般の窓口等で来る人と交錯してしまいます。

事務局：

集団検診などの業務は、受付業務などを含め、保健センター内で完結するように計画しています。ですので、集団検診などの際は、直接、保健センターへ来ていただき、それ以外の相談や手続きは、子育て・健幸課の窓口で対応させていただきます。保健センターにも一部の執務機能を残し、集団検診などの業務を行えるよう計画しています。

委員：

他の市町村を見ても、保健センターと市庁舎は離れていますが、バリアフリー対応の施設となっています。

しかし、今の保健センターは、築後 30 何年経ったバリアフリー対応ではなく、2 階で検診を行う場合も、移動はかなり大変で、雨が降った場合は、駐車場から傘をさして行かないといけません。

今回の新庁舎建設の際に、母子ともに優しい施設を考えてほしいと思いました。ですから、保健センターを改修する場合も、そのような意見を踏まえて改修をしていただきたいと思います。

事務局：

バリアフリーや機能的配置などに気を配り、財源を含めた可能な範囲で改修を計画させていただきたいと考えています。

委員：

計画概要2の立面計画の中に、北側にむけて開放的なガラスファサードとありますが、強風による飛散物などのために、窓ガラスへの飛散防止フィルムなどの予定はありますか。

榑佐藤総合計画：

開かれた庁舎の実現のため、ガラスのファサードというご提案をさせていただいています。台風時の強風への配慮について、ガラスの設計をするときには、風圧、ガラスの厚み、寸法などを検討します。

飛散防止フィルムは、貼る場合と貼らない場合がありますが、今回この北側で考えていますのは、複層ガラスといいまして、熱環境に配慮した二重ガラスを採用しようと考えています。ですので、もし貼るとしたら2枚のガラスの耐久性を考えると、建物の内側から貼るのがいいです。

万が一、ガラスが割れたとしても飛散しないような対策、例えば、全面フィルムを貼ってしまうなどを考えています。これから、実施設計に向かっていきますので、十分に検討をさせていただきたいと思います。

委員：

福祉計画にある相談センターという横の連携で、介護や子供、障がい者も含めた会合を情報・防災庁舎などで開催しています。会議・相談機能として、会議室や相談室ですけど、その辺りの機能をどのように利用できますか。

事務局：

相談室は、業務の中で個別の込み入った相談などの利用を想定し、1～3階に計画しています。また、会議室は、委員会や審議会、会議や会合などの利用を想定し、大小の会議室を2～4階に計画しています。

委員：

防災拠点としての機能ですが、災害があった時に、一時避難として、避難者が市役所に避難されることがあり、そこから二次避難というか、搬送することがあると思います。そのときに、屋上からの搬送を考えていますか。

例えば、ヘリポートを作れとは言いませんけど、ホバリングなどに十分耐えられる構造で、屋上からの避難を考えていますか。

というのは、地盤の低いところですので、陸での搬送が困難な場合、空からの搬送も十分考えられますので、その辺の考え方をお聞かせいただければと思います。

事務局：

大病院や都市部の庁舎などは、屋上にヘリポートがありますが、今回、新庁舎の北側の駐車場スペースにヘリコプターが降りられるため、屋上ヘリポートは計画していません。

また、緊急時の搬送は、竹鼻中学校が臨時のヘリポートになりますので、そちらで想定をしています。

委員：

該当される方が竹鼻中学校に避難をしていただければいいですが、ヘリポートは当然大袈裟な話になるので、ホバリングが可能であれば、屋上からの避難も十分検討できると思います。

やはり、地盤の低い所なので、外に出られないことも想定されますから、もし検討する余地があれば、検討していただければと思います。

それから、平面図を見ましたが、R階に吹抜けがあるということは、計画概要2の断面計画のところを見ると、3階床、4階床から青空が見えるのですか。一応、上から被せるようなものがあると、断面計画ではなっていますが、どういう計画ですか。

榑佐藤総合計画：

断面計画ですが、断面図上部の斜線は、向こう側の壁や目隠しフェンスを表現しています。1,2階の吹抜けのところに、トップライトといたしまして、光を取り入れる窓があります。3階から4階、R階に向けては、吹抜けていますので、雨や光が入ってくるという計画をしています。

また、温熱環境として、トップライトなどを利用し、熱を強制的に外に排気することで、室内の空気環境を良くしていく検討を進めています。

委員：

やはり、R階のスラブは吹抜けで、光庭とかには、雨掛かりがあるという考えでいいですね、わかりました。

委員：

設計地震動ですが、熊本地震でも前震、本震があり、繰り返しその最大級の地震が来るようなことも想定される範囲になってきており、地震応答解析によってモデルがあるなら、免震構造が壊れない範囲であれば、何回揺れても壊れないでしょうから、アピールされてはどうですか。

また、設計地震動を超えたらいいではなくて、危機体制という言葉もインフラの方で結構出てきていますが、実際どこまで耐えられるかを解析レベルでも示しておけば、さらなる安全・安心をアピールできるのではないですか。

榑佐藤総合計画：

実は、他の自治体でも同じようなことを言われます。今回、免震で評定を受けますので、地震応答解析の中で、実際どこまで耐えられるかを解析

レベルでも計算し、その辺りを今後お示しできればと思います。

委員：

立面、断面計画の中で、吹抜けとガラスというのが、年配の方には心配なようで、なんとなくもろいというイメージがあるので、いざ造りますという時に、思っているより丈夫、ということをもう少し分かりやすい言葉でPRしてもらえると、反対ではないけど、そんなガラスにして大丈夫なのか、といったような意見は少なくなるのかなと思いました。

榑佐藤総合計画：

今、北側の立面しか見えてないですけど、あとの東、南、西というのは、腰壁があって、引き違いの窓があって、垂れ壁があるような、計画をしています。この北側は、皆様を迎え入れる正面ファサード、また、庭を見せたいということで、開放的にしています。

先ほども言いましたように、ガラスの強度や安全性は設計の中で、検討させていただきますし、吹抜けの周りにも手摺りがあり、腰壁部分がガラスとなりますが、このガラスも設計の中で強度を検討しまして、通常1平方メートル当たり300キロぐらいの荷重がかかっても大丈夫な様に計算をしますので、その辺りもご安心いただけるように、設計させていただきたいと思います。

委員：

2階の市民活用スペースですが、所管課はどこですか。また、図面を見ると、大テーブルなどがありますが、何かの活用を想定しているのか、もしくは、その確保をしたという段階なのか、どうですか。

事務局：

市民が集える交流場所が欲しいというご意見を市民意見交換会でいただきました。具体的な所管課や利用計画の具体案の立案までには、まだ至っていませんが、幅広く市民の皆様に活用していただきたいと考えています。

委員：

大テーブルと書いてあるので、無駄な什器で何も使えなくて、後でどこに持っていこうかな、とならないように、並行して考えていくべきかと思っています。

事務局：

現時点では、会議室を想定した形態で什器を配置していますが、具体的な利用形態については、今後も検討を進めます。

委員：

基本設計は最後ということで、資料として作成していただけるのであれ

ば、特に、設備関係については、非常に重要な項目で、費用も大きな金額になります。

特に心配しているのは、災害後に復興するときに、複雑なものや手間のかかったものは、大抵時間がかかって復興の邪魔になります。特に、いろんなものを組み合わせたものは、ほとんど動かない状態になるということがあります。

ですから、設備関係、エネルギー関係、電力関係、全ての項目の設備リスト、メーカーさん、システムの内容、10年以上の実績があるかないか。それと、阪神淡路大震災等々、多くの大地震の後、引き続き使われているかどうかの実績についての補足説明を全部つけていただきたいと思います。

私の経験では、ほとんどが使えなくて、そのまま撤去されている部分が多いです。ですから、最初にする投資の意味をなさない。単純なものをやっておけば費用が安く済んだ、というのが実績です。それも含めて説明できるようにしていただきたいと思います。

委員長：

今回の基本設計案は、抜粋版となっていますが、その抜粋されていないところに今ご質問されたようなことが書かれているのでしょうか。

事務局：

基本設計の段階で、今の全てのことを網羅できているとは限りませんが、次回開催予定の1月頃までに可能なものを準備させていただくことでご理解いただければと思います。

（株）佐藤総合計画：

これから詳細設計、実施設計に入っていきますが、この設計は公共の工事発注用の図面ですので、例えばメーカー名の特定はしていません。そういう意味で、個別メーカーの個別機器に対して、名前や実績を出しづらい部分もあるということをご理解いただきたいと思います。

委員長：

皆さんから多くのご意見を賜りましたが、委員会として、これを基本設計（最終案）として認めてよろしいでしょうか。

委員：

『了承』の声

委員長：

それでは、委員会としては、これを基本設計（最終案）として認めるということで、皆様どうもご協力ありがとうございました。

事務局：

什器の整備計画について、資料を使用して以下の説明を行う。

- ・資料2に基づき、ユニバーサルレイアウト、モジュール収納什器を説明

委員長：

今のご説明に何かご質問ございませんでしょうか。それでは、次に移りたいと思います。

2 議題 (2) その他

事務局：

市民意見交換会及びパブリックコメントの結果について、説明を行う。

事務局：

今後の当委員会の開催予定ですが、次回を平成31年1月の第三週または第四週に開催させていただき予定でありますので、正式な日程が決まり次第改めてご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上でございます。

委員長：

今回が基本設計案に関する最後の会合ということで、皆様どうもご協力ありがとうございました。

それでは、これをもちまして本日の委員会は滞りなく終了したことと思います。

3 閉会

以上